

やさかだより3 No. 101

八坂地域づくり協議会 <https://www.shinshu-yasaka.com> 2024年(令和6年)3月1日



「おやきでつながる八坂の民 2024」開催

八坂小中学校後期課程の生徒が企画したイベント「おやきでつながる八坂の民2024」を前期課程校舎で開催しました。後期課程の生徒に加え、前期課程の児童や保護者、地域の方々が参加し、郷土食に親しみながら交流を深めました。

2023 「わたしのやさか」フォトコンテスト各賞決定！



八坂地区の人口：707人
(男 354人・女 353人)
八坂地区の世帯：348 世帯
(令和6年2月1日現在)

地域づくり協議会の活動から

期 日	区 分	内 容 等
1/16	第 11 回やさかだより編集会議	・やさかだより 3月号編集会議
1/18	第 4 回八坂地域づくり協議会	・市民バスふれあい号【八坂コース】の運行改正(案)について(情報交通課) ・自治組織見直し検討部会最終報告書について ・活動手当(役員報酬)の見直しについて



各自治振興会、年末の行事

12月17日(日)に石原自治振興会、野平自治振興会、舟場自治振興会でそれぞれ特色ある年末の事業が開催されました。

石原自治振興会



野平は26名が参加してわら細工とお料理交流会として、石原自治振興会と同様、防災も兼ねた非常時のアルファ化米の炊き込みご飯の他におでんを作り、北澤豊繁さんに差し入れしていただいた、たけのこ汁も一緒にいただきました。山留生の参加もありおかわりをするなど大好評でした。

石原自治振興会は門松づくりや、わら細工に加え、防災訓練を兼ねて非常時のアルファ化米の炊き込みご飯づくりを体験しました。お湯を用意するだけでしたが満足な味と好評でした。



野平自治振興会



舟場自治振興会



舟場は22名の参加がありました。舟場自治振興会はわら細工の他女性の方たちはお正月を飾る生け花を楽しみました。講師を迎え本格的なもので出来栄には大満足でした。



1月7日、野平自治振興会ではどんど焼きが行われました。朝9時に山村広場に集合し、準備を進めました。昨年未だに役員の皆さんで鮎井洋一さんと寺島長二さんが提供してくれた竹を運んでおいだったのですぐに進めることができました。その間に子どもたちは、しめ飾りを集めるに出発。例年地域の消防団の皆さんの活躍のおかげで火災を防ぐことができましたが今年は雪がなく火災の心配もあって小さくつくることを心がけました。消防団の皆さんは大町市の出初式もある中で準備から協力していただき、午後5時からの点火に備え消防車を待機していただきました。

野平どんど焼き



撮影：吉田龍馬（第4回フォトコンより）

今年はつくり方も良かったのか最後まで傾くことなくきれいに燃えましたがその間も注意を怠らず周囲の落ち葉や笹の葉に飛び火しないように消防団の方々はこまめに消火に努めていました。皆さんがもちを焼き終わる頃には雪がちらつく空模様でしたが当日は暖かく過ごしやすいい夜となりました。次の朝には雪で真っ白になっておりびっくりしましたが当日はお天気で本当に良かったです。

野平自治振興会

島田耕一郎

切久保どんど焼き、鳥追い



切久保地区では、1月8日にどんど焼き、1月20日に鳥追いが行われました。例年の鳥追いは氷点下10℃の雪道、今年はそれ程ではありませんでしたが、寒いし夜明け前で真っ暗。切久保集落内に平らなところはなく、暗く滑る足下に注意が必要です。子どもたちは、一生懸命に木槌で羽子板をたたきながら鳥追い歌を歌ってくれました。関係された皆さん本当にお疲れ様でした。これで秋まで害鳥の被害がなく豊作になるでしょう。

切久保自治振興会
勝野正巳



中央どんど焼き、新年会



中央地区では1月13日にどんど焼きを行いました。お昼過ぎに集まり、まずどんど焼きの準備をし、準備ができたところで基幹センターに移動し、12月に一の瀬集落に引っ越してきた神尾さんご夫妻の歓迎会も兼ねた新年会を行いました。新年会では、ビンゴゲームで大人から子供まで楽しみました。少し暗くなった頃、会をお開きにし最後はみんなでどんど焼きを行い、今年一年の無病息災を祈りました。

たけのこ保育園

くるみ保育園との交流

1月30日にくるみ保育園の年長さん18名がそり遠足に来ました。園舎のまわりは雪が溶けてしまったので、前の日に雪探しに行きました。小学校の田んぼに行く道は日陰で雪が残っていたので、そこで滑ることにしました。

人数の多さに少し緊張しながら、みんなで道を下り森の中に入っていました。「何か魔物が出そうだね。」と。「魔物はいないけど、カモシカやキジがいるかな？」と会話をしていました。道一面の雪に「うわあ〜♡」と驚いていました。そりで滑ったり、雪を集めてそりに入れたり、田んぼの中を走り回ったりして雪を満喫していました。あっという間でしたが、お互い楽しい体験となりました。



豆まきをしました

2月1日の豆まきは、どんなお面を作ったのか発表したり、豆まきクイズの紙芝居を見たりしました。お面をかぶり、豆を入れてもらい、「やっつけるぞー!」と、はりきって外に出て豆まきの練習をしました。

のんびり写真を撮っていると、山の方から青鬼が、何と遊戯室の中から赤鬼がやって来ました。さっきまでの元気はどこへやら・・・泣き叫びながら一心不乱に豆を投げていました。投げて投げて、鬼は近づいてきて、太田先生を連れて行ってしまいました。大変なことになったけれど、怖くて一步も動けない子どもたち。それでも号泣しながら「先生を返せ!」と、立ち向かっていった子がいたので、先生を助けることができました。「先生の話をよく聞いたり、好き嫌いなくごはんを食べたり、お友だちとなかよくあそぶから、もう山に帰って!」と言うと、やっと帰って行ってくれました。しばらくは放心状態の子どもたちでした。とても怖かったようで、給食の時に豆まきの話をして振り返っていると、「もうその(鬼)話はしないで。」と言う子もいました。心の中にいる鬼、無事に退治できたかな?



八坂小中学校前期課程

2月3日に、本年度最後の授業参観を行いました。今回は、一年間のまとめとしてこれまで学んだことを発表したり、おうちの方々に感謝の気持ちを伝えたりしました。

校長講話では、義務教育学校としてスタートした本年度の教育活動を振り返って成果と課題をお話ししました。

＜1年生＞ まず、手話付きの歌「ともだちになるために」をみんなで発表しました。次に、「ぼく・わたしのいいね!」というタイトルで、一人ずつ頑張ったこと、できるようになったことを発表しました。終わりに、お家の方々から心温まるエールを送っていただきました。



＜2年生＞ クロムブックを使って、2年生の学習のまとめ(遠足、詩、文集について)をみんなでプレゼンテーション発表しました。その後、鍵盤ハーモニカ、木琴、打楽器を使い、楽器を交替してみんなで「それが音楽」の曲を演奏しました。



＜3年生＞ 問いをもって自分から主体的・対話的に学び合うことをテーマに、一年間学んできたことを3年生の「今」として発表しました。原稿準備からクロムブックを使いこなして、学んできた成果を伝え、お家の方々からも心温まる言葉をいただきました。



＜4年生＞ 今年度4年生で取り組んだ「そば学習」について発表しました。想定外の質問にとまどう場面もありましたが、それによってさらに学びを深めることができました。また、クイズやインタビューなどを交えることで、お家の方にも一緒に楽しんでいただけました。



＜5年生＞ 各教科のグループに分かれて、1年間で学んだこと・感じたことなどをスライドにまとめて、学習発表をしました。また、体育で学習をした「ティーボール」のホームラン競争を、5年生チーム対保護者チームで競いながら楽しみました。



＜6年生＞ 総合的な学習の時間の「おやきづくり」のまとめとして、保護者の皆様と一緒におやきを作り、1年間の活動の成果を発表しました。また、各教科で学習した事のクイズや、国語で学習した狂言「柿山伏」、「僕らまた」の歌を発表しました。



コミュニティ・スクールだより

おらほの学校やさか



今年は、雪が少なく実施が心配されましたが、1月19日に爺ガ岳スキー場に前期課程全員で出掛け、スキー教室を行うことができました。

当日は曇り一時雪の寒い天候でしたが、3日前に降った雪でグレンデコンディションもよく、キュッキュと締まった雪で快適にスキーをすることができました。



始めの会にて、支援ボランティアへ挨拶



レッスンの様子

八坂小中学校後期課程

12月21日(木) POP講座

ドン・キホーテ長野店から店長さんとお二人のポップライターさんをお招きして「POP講座」を開催しました。やさか人間塾で自分たちが製造した商品を販売する際にポップがうまくいかなかったという課題が残ったので、POPと言えばドン・キホーテとお願いしてみたところ快諾をいただくことができました。最初に店長さんから「商品の価格はどう決める？」というお話をお聞きし、かたかな・ひらがな・漢字の文字を書くことにチャレンジした後、お手本を参考にしながらPOPを描きました。最後に、ドン・キホーテ プライベートブランドのカカオケーキのポップ作成が冬休み中の課題となりました。休み明け提出した作品は、ドン・キホーテ長野店に飾られるそうです。



12月20日(水) 8・9年生そば打ち
1月15日(月) 7年生そば打ち

今年も北澤千代司さん・渡辺恵子さんを講師に迎え、そば打ちを行いました。匠にお手本をみせてもらったあとは、各自チャレンジです。自分たちで打ったおそばを給食に美味しくいただきました。9年生はこれで一区切り、卒業前に「そば打ち認定証」が授与されます。

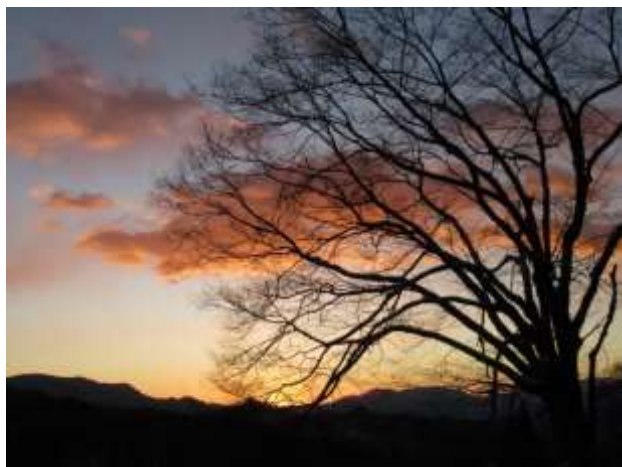


第4回わたしの八坂フォトコンテスト最優秀賞決定

第4回「わたしの八坂」フォトコンテストには総数78点の応募をいただきました。先日審査が行われ、各賞が決定しました。八坂小中学校、八坂地域づくり協議会のホームページでご覧いただけますが、最優秀賞は中村和正さんの「雪化粧の八坂公民館」に決定しました。



入選作品の一部をご紹介します。



審査委員の吉田心優さんは、
「構図も技術も素晴らしく、選ぶのに
苦労した。私の知らない八坂がたくさん
あって、あらためて八坂の魅力に気
づいた。多くの人に見てもらいたい」
と話していました。

NHK「にっぽん百低山」で大姥山が紹介されました!!

酒場詩人の吉田類さんが全国の低山を訪ねる人気番組「にっぽん百低山」で大姥山が紹介されました。（令和5年12月27日放送）

吉田さんとゲストで地元出身のタレント乙葉さんに、大姥山を知り尽くした地元の伊藤悦男さんが伝説を説明し、大姥山の魅力がたっぷり紹介されています。

見逃した方は、NHK プラスで視聴できますので、是非ご覧ください。





毎年スキー活動を楽しみにしている学園生は多く、1カ月も前から道具の手入れを行う姿もありました。スキー活動は、スキー場でのルールやマナー、安全に滑るために注意することをしっかり頭に入れます。滑り始めると最初は慣れない様子も見られましたが、すぐに感覚を取り戻していました。初心者班も全員がリフトに乗れるレベルまで上達しました。日頃山留生がお世話になっている地域の方々への恩返しになればと、1月14日には八坂・美麻公民館の協力で、八坂・美麻小中学校に通う子ども達と一緒に滑る機会を設けました。レベル毎に分かれての活動でしたが、どの班もととても楽しそうに滑っていました。

年明けの週末活動は、子ども達がお世話になっている農家さんの地区行事に参加させてもらいました。「どんど焼き」「おんべ」と、呼称や内容は地区によって少しずつ異なるようですが、どの地区でも地元の子と同じように、受け入れてもらっていると感じました。子ども達は「楽しかった！お腹いっぱい！」と、いただいたお菓子を手に、他の地区の子ども達にたくさん話をしていました。

さて、3月19日に、八坂48期・美麻32期の学園生30名が修園を迎えます。地域の皆様の支えがなければ、1年を通して地域で暮らし、安全に通学路を歩き、皆様の温かみに触れ、これほど素晴らしい体験を得ることはできませんでした。本当にありがとうございました。次年度も、どうぞよろしくお願いします。



八坂公民館

〈第44回郷土かるた大会〉 公民館・子ども育成会主催

1月13日(土)に「郷土かるた大会」を小中学校前期課程校舎で開催し、小学生25名が参加しました。

当日は、1～2年、3～4年、5～6年の3つのグループに分けて、「八坂郷土かるた」と「大町民話かるた」を交互に計5回行い、取り札の枚数を競いました。子ども達は、真剣な眼差しでかるたを囲み、読み札に集中しながら、かるたを取るたびに「ハイ」と大きな声が会場に響きました。また、開閉会式や受付など、当日の進行は6年生が行い、低学年の子ども達を思いやる温かみのある大会となりました。

「八坂郷土かるた」は、郷土学習を深めるため、昭和54年に制作され、読み札は、村民から募集し、絵札は、当時の中学生が版画により制作したもので、翌年の昭和55年から「郷土かるた大会」が続いています。この伝統ある大会を、今後も地域や学校と協力しながら継続し、子ども達にふるさとの良さを伝えていきたいと思ひます



2 年間ありがとうございました。
編集委員からひと言

NHKの番組に取り上げられ、話題になりまし
た。上籠郷の文化を発展させる
土文化を整備、維持管
理を続けてきました。惜
しくも、高齢化に伴い、
したが、引き続き上籠
箒集落全体で維持管
理に努めます。の
で、ぜひ大姥神社や
大姥山にお越しくだ
さい。また国道を彩
るイルミネーション
も年末恒例となり、
国道19号を通るドラ
イバードにも好評だと
聞きます。

幸いなことに当地
は災害もない穏やか
な春を迎えています。
が、災害が起きるか
予測できません。災害
が起きたときには大
切なことは地域のつ
ながりだと思いたす
のと、私も役員の一人
として地域のつなが
りを強くしたいと思
います。